



循環器センターの取り組み

～24時間365日の救急対応で、あなたのそばにいつも安心を～

菊名記念病院 循環器センターとは

菊名記念病院は、急性期医療特化型の病院です。24時間365日、緊急手術・カテーテル治療にも対応可能な診療体制を整えており、診療科を超えた連携・一体感・スピード感をもって診断と治療を提供すべく取り組んでおります。

循環器センターでは、**循環器の病気＝心臓と血管の幅広い血管疾患**に対応すべく、**循環器内科医と心臓血管外科医が協力**しあい、『地域社会への貢献』をモットーに患者さま1人ひとりに応じた高度医療を提供しています。体調がすぐれぬ時・かかりつけ医の先生から精密検査を進められた時は、ぜひご相談ください。



センターの3つの特徴

1.

24時間365日、**循環器センターの医師がいつでも対応**

循環器内科/心臓血管外科の病気が疑われる患者さまに対し、センターの医師がいつでも救急対応をいたします。突然の発症後、急激に病状が悪化し急な死に至る疾患の代表である『急性心筋梗塞』に対しても、24時間365日・緊急カテーテル治療を行える体制を整えています。

2.

循環器内科と心臓血管外科常に2科の連携がとれた診療を提供

心臓病・動脈疾患・静脈疾患などの循環器系の病気には、循環器内科での治療が望ましい病状/心臓血管外科での治療が望ましい病状/循環器内科と心臓血管外科で合同での治療が望ましい病状の3種類があります。当院は2科の連携で患者さまにとって常に最良の選択肢の提案を心がけています。

3.

10年後20年後も**患者さまに元気で過ごしていただく事を目指した診療**

循環器の病気には、年齢を経るごとに進行する病気もあり(狭心症や心筋梗塞、慢性心不全など)、その様な方向けに10年・20年後もお元気で過ごせるよう、当院の受診案内のお手紙を年1回等の間隔でお届けします。定期的な心臓病の評価を通じ、かかりつけの先生との綿密な連携の下治療を進めます。

循環器系の疾患は迅速な対応が治療のカギとなります。

当院では地域のクリニックの先生方からのご紹介も受け付けています。お気軽にご相談ください。



治療対象の疾患

- 心不全
- 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
- 閉塞性動脈硬化症
- 不整脈
- 心臓弁膜症
- 胸部/腹部大動脈瘤
- 肺塞栓症(エコノミークラス症候群)
- 下肢静脈瘤

センター長よりご挨拶 『すべての人へ、最善の治療を』

まずはじめに、一口に『心臓病』や『血管病』と言っても、その原因・病状は患者さまごとに異なります。動脈硬化が主な原因である『狭心症』『心筋梗塞』などの虚血性心疾患や、足のむくみ・呼吸困難などが現れる『心不全』は比較的多い病気です。心不全の原因は、虚血性心疾患・心臓弁膜症・高血圧性心臓病・心筋症・不整脈など多岐に渡ります。また不整脈にも様々な種類があり、個々の原因に対して適切な治療が必要です。血管の病気としては大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症などがありますが、実際にはこれらの病気が複雑に絡み合っていることが多いのです。

当院ではより専門性の高い高度医療の提供を目指し『循環器センター』として**各部門毎にスペシャリストを配置し、循環器内科医と心臓血管外科医が協力**して最適な治療を行っています。虚血性心疾患をはじめとする動脈硬化性心血管疾患に対するカテーテル治療だけでなく、不整脈に対するカテーテルやペースメーカ治療、大動脈疾患に対するカテーテルや手術など、循環器全般を網羅する専門的治療を行っております。また、心不全や高血圧症に対する薬物治療についても、それぞれの患者さまに適した治療を選択しています。**幅広い症状に対応可能**ですので、いつでもご相談ください。



センター長 本江 純子

もっと詳しく！治療・疾患別の解説

心臓血管外科治療

心臓の病気や大動脈および末梢血管の病気に対して、外科的なアプローチで手術治療するのが最適と判断されたものを指す。

- 主な治療：心臓弁膜症のほか、大動脈瘤などの血管疾患に対する外科的な治療。
- 体に低負担という理由から、大動脈瘤には2007年導入の『ステントグラフト治療*』を治療の第一選択肢にあげることが多い。(※ステントと呼ばれるバネ状の金属を取り付けた人工血管を用いた治療のこと)

虚血性心疾患

動脈硬化や血栓の影響で血液の巡りが悪くなり、心臓に酸素や栄養を供給する血管(冠動脈)が詰まると発症する病気を指す。

- 主な症状：狭心症、心筋梗塞。
- 特に急性心筋梗塞は、時間の経過と共に急激に心臓の筋肉が壊死し、突然死に至る危険があるため要注意。
- 当院では体に低負担なカテーテル治療を得意としている。特に急性心筋梗塞への緊急カテーテル治療は24時間365日対応可能。

末梢動脈疾患(PAD)

全身の動脈の中で主に手足や腎臓に血液を送る動脈を『末梢動脈』と呼び、それが詰まることで血流が低下する病気を指す。

- 主な症状：歩行中の足の痛み(間欠性跛行)、足の傷の治りにくさ。
- 全身の動脈硬化と関連があり、放っておくと心筋梗塞や脳卒中のリスクが上がる。
- 早期診断が予後に大きく影響するため、早めの対処が大切。当院では迅速な検査と診断、2科の連携による適切な治療を提供。

不整脈疾患

脈のリズムや頻度が一定でない状態を指す。脈が速くなる場合(頻脈)・遅くなる場合(徐脈)・不規則になる場合の3パターンがある。

- 主な症状：①頻脈性不整脈→動悸や脈が飛ぶ ②徐脈性不整脈→ふらつき、失神等。
- 無症状の場合もあり、多くの不整脈は経過観察で自然治癒することはない。
- 当院は不整脈専門医資格を持つ医師が在籍。アブレーション、ペースメーカ、薬剤加療など患者さまのニーズにそった治療が可能。



手術実績はこちらから

